



平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男 子

平成28年8月1日 16:10 開始

2 回戦

県立総合体育館小アリーナ G

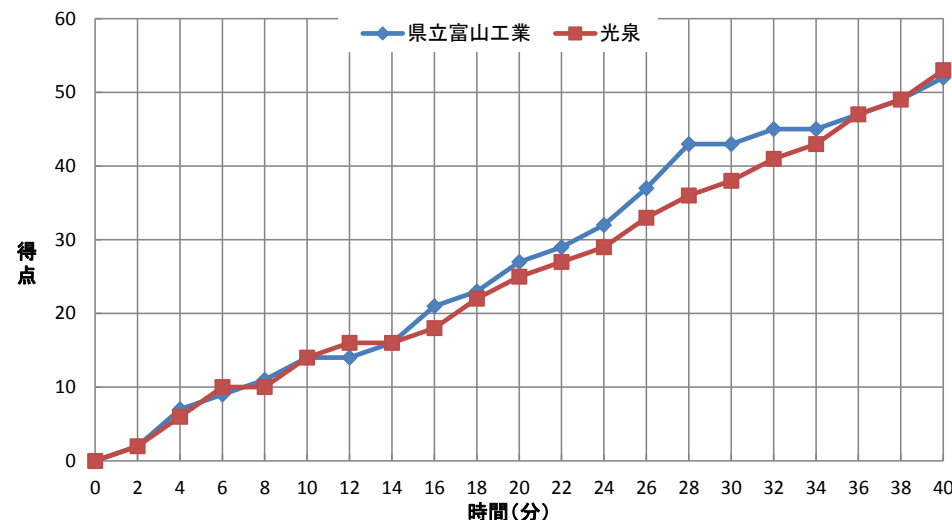
県立富山工業	52	14 1st 14 13 2nd 11 16 3rd 13 9 4th 15	53	◎ 光泉
(富山県)				(滋賀県)

番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則
4	尾崎 楓也	-	-	-	-	-	* 4	千代 虎央太	16	0	8	0	3
* 5	飴谷 由毅	11	0	5	1	4	5	鷲山 翔哉	0	0	0	0	1
6	藤田 圭吾	-	-	-	-	-	6	小山田 昂平	-	-	-	-	-
7	竹林 駿	-	-	-	-	-	7	長縄 奎汰	-	-	-	-	-
8	毛利 脩平	-	-	-	-	-	* 8	野村 つよし	12	0	5	2	0
9	橋本 大弥	0	0	0	0	1	9	竹内 大樹	-	-	-	-	-
* 10	平崎 遥斗	18	4	3	0	1	10	石原 克海	-	-	-	-	-
* 11	三山 浩宗	9	1	3	0	1	* 11	金本 一真	7	1	2	0	1
* 12	浜子 武大	8	0	4	0	1	* 12	田中 慎之介	14	2	4	0	2
* 13	千保 北斗	3	0	1	1	1	* 13	山田 篤貴	2	0	1	0	0
14	堀田 理仁	3	0	1	1	0	14	竹林 知哉	2	0	1	0	2
15	堀川 歩夢	-	-	-	-	-	15	大塚 碧生	-	-	-	-	-
コーチ	松井 昭博					0	コーチ	寺田 均					0
Aコーチ	島田 育弘						Aコーチ	芦名 悦生					
合 計		52	5	17	3	9	合 計		53	3	21	2	9

主審: 田中 真

副審: 阿部知裕

得点経過



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	32:55	39:43	39:59	:	:	:	:
TeamB	16:09	:	27:13	37:46	39:25	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

第1P、両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでゲーム開始。序盤、富山工業は、アウトサイドからの1対1を中心にオフェンスを組み立てる。#5のファーストブレイクも決まり勢いに乗る。対する光泉は、#4の1対1や#8の連続得点で一進一退の攻防が続く14対14で第1P終了。

第2P、両チームともアウトサイドシュートによる攻防を展開するが、お互い思うようにシュートが入らず我慢の時間が続く。富山工業の#13の3Pシュートが決りリズムを掴みはじめる。光泉は、すかさずタイムアウト。これをきっかけに、光泉の#12のドライブイン、3Pシュートで食らいつき、27対25富山工業リードで前半終了。

第3P、富山工業は#10の3Pシュート、#13のバスケットカウントで流れを作り、ディフェンスを3-2ゾーンに切り替え一気に突き放しにかかる。光泉は、#4の1対1と#12の3Pシュートで応戦。その後も両者譲らず38対43で富山工業がリードを保ち第3P終了。

第4P、富山工業はハーフコートマンツーマンに戻す。光泉の#11の3Pシュートや#14の1対1で2点差まで追いつく。富山工業は、すかさずタイムアウト。光泉は#12のドライブ、#8のゴール下のシュートにより逆転。富山工業は#12のシュートで再び同点に追いつき、光泉は後半2回目のタイムアウト。しかし、タイムアウト明けに富山工業の#10の3Pシュートが入る。光泉は3回目のタイムアウトを請求。ここでメンバーチェンジした光泉の#8が逆転の鍵となる。まずタイムアウト明けにゴール下シュートを決める。さらに残り1.5秒、ディフェンスリバウンドの際にファウルを誘い、フリースローを獲得する。このフリースローを確実に2本とも決め切り、52対53で光泉が勝利し3回戦に進出した。

戦評: 山崎 翔太郎

記録: 可部高校